

シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MOディスク・CD-R・CD-RWのいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windowsの場合 MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円（税込）、超過頁は1頁につき7,350円（税込）、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受けける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円（税込）、6頁以上は1頁毎に10,500円（税込）を加算した額を申し受けける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受けける。
8. 著作権：当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

### 編 集 後 記

日本の自殺者数が9年間連続で3万人を超えたと報告されている。年間の交通事故死者数が1万人以下となっていることを考えると、交通戦争ならぬ自殺戦争である。こんな先進国は世界中どこを捜しても無い。政府は「自殺対策基本法」「自殺総合対策大綱」などを作り対応しようとしている。しかし、これらの対策は、自殺を精神疾患の立場でとらえ、自殺の高リスク者や自殺未遂者を早めに医療機関へ誘導するという方向で動いているようだ。開業医から自殺リスクのある患者さんを精神科へ紹介する場合には保険点数を上乗せするという案すら出ている。

この自殺者増加の理由は精神疾患患者が増えたことでは無い。経済至上主義、格差、ワーキングプアなどのキーワードが示す閉塞した世相が原因であり、自殺者の多くはいわば政治による犠牲者である。原因を正さず、小手先の対策のみ行っても効果は少ないだろう。医師不足、がん対策などへの対応も同様である。

（小川 修）